

おむつを外してしまう…

⇒おむつの形状やサイズ、使い方などを
確認しましょう

とよさと病院 認知症疾患医療センター

【 認知症の人の状態 】

おむつを外してしまう原因は、おむつが汚れたり蒸れたりして**不快**、ごわごわして**動きにくい**、**違和感**があって落ち着かないなどが考えられます。

大人用の紙おむつは、昔に比べて格段に進化していますが、それでも普通の肌着に比べたら違和感があります。また、トイレに行ったときに、下着を脱ぐ感覚でおむつを外してしまう人もいますようです。

そして、尿意を感じ取れる人の場合、意識がありながら、便器以外の場所つまり、紙おむつの中で尿を出すことは最初はかなり違和感があるようです。

【 対応方法 】

①就寝前には必ず、**トイレに誘導**しましょう。

寒くないかどうか、寝間着や寝具も確認しましょう。



②おむつは、体型や動きに合っていないと、違和感が増します。**おむつの形状やサイズ、使い方などを確認**しましょう。

紙おむつのメーカーの中には、おむつの選び方や使い方をホームページで紹介しているところもあるので、参考にしましょう。サンプルを送ってくれるところもあるので、**数種類のサンプルを試して選ぶ**のもいいでしょう。

③おむつは**こまめに交換**しましょう。

排せつ物がインナーパッドにとどまっていれば、パッドのみの交換でも構いません。就寝時でもできれば、一度くらいは様子を見ましょう。排泄のタイミングは一定であることが多いので、**タイミングを見つけておむつを替える**ようにしましょう。

④普通の下着のような形をしている、尿もれ対応の吸水層がついている「**軽失禁パンツ**」や、紙パッドと組み合わせて使う「**ホルダーパンツ**」、布製の「**排泄アウター**」など、**排泄の自立度や失禁の量に合わせて、使い分け**ましょう。

⑤おむつ外し防止用のおむつカバーや、つなぎ型の寝間着もありますが、あくまでも**本人の快適さを優先**しましょう。

2022.6作成

参考文献：杉山孝博, 認知症の9大法則50症状と対応策, 法研, 2013, P108-109

認知症の人と家族の会, 認知症になった家族との暮らしかた, ナツメ社, 2018, P106-107